

## ● 飲食・薬の使用などについての注意事項

### 1 検診前夜

- ① 午後8時ごろまでに食事を摂り、それ以降の食事はしないで下さい。
- ② 飲水については、深夜0時頃まではかまいません。特に、熱中症や脱水症が起きやすい夏季には積極的に飲水して下さい。
- ③ 飲酒はなるべく避け、早めに就寝しましょう。
- ④ 入れ歯安定剤は、検診前夜から使用しないで下さい。

### 2 検診当日 食事をされた場合、検査は受けられません

- ① 起床後は、検診が終了するまで、水以外の摂取は避けて下さい。
- ② 服薬のための飲水は、コップ1杯（200ml）程度であれば問題ありません。常用しているお薬の服用については、下表を参考にしてください。

当日の使用	薬の種類	方 法
×	糖尿病薬 (血糖降下剤、インスリン)	絶対に使用しないで下さい。 (低血糖発作の危険があります)
○	その他の常用薬 (血圧・心臓の薬など)	血圧・心臓の薬は原則として服用して下さい。 起床直後、早めに服用して下さい。

- ③ 検診時の服装は、ボタン、刺繡<sup>ししゅう</sup>、金具等のないものをお願いします。

## ● 授乳中の方へ

検診後に服用する下剤の影響で、乳児に下痢がみられる場合があります。服用後48時間以内は人工乳に切替えるか、検査前に搾乳しておくことをお勧めします。

## ● 胃がん検診（バリウム検査）について

この検診は、バリウムを使って胃の粘膜の状態を写し出し、病変の有無を検査するものです。“胃がん”をはじめ、“胃潰瘍”や“ポリープ”などの疾患を見つけることができます。

なお、この方法では胃の粘膜に変化があらわれにくい癌や、病変が骨や十二指腸の影になる部分にあるときなどは見つけることが困難な場合があります。

この検査で「異常なし」と判定されても、病気を100%否定するものではありません。

\*このリーフレットは『胃X線検診安全基準』（発行：日本消化器がん検診学会 関東甲信越支部）に基づき作成しています。